

ボートフィッシングをより楽しもうというボートマンにとって、まず考えたいフィッシングといえば、ロッドホルダーがあげられます。ロッドホルダーを適切なポジションに艦装し使いこなすことで、基本的なボートフィッシングの技術を習得することができます。

ロッドホルダーの選び方

ロッドホルダーは様々な材料で製造されており、強度は弱い安価なプラスチック製から真鍮製、ブロンズ製、肉厚のパイプを利用したアルミニウム製、さらには強固で耐久性が優れたステンレス製等があります。やはり強度と耐久性を追求したホルダーはコスト的には高額ですが、ビッグゲームフィッシング等に使用されるタックル(ロッドリール)には必要不可欠なものであると思います。

次にサイズについてですが、小さなサイズのものはライト・ミディアムクラスのタックル用と考えてよいと思います。基

本的にはロッドバットの強度や入り込む長さによってその基準があるようです。大型サイズを製造するメーカーに聞くと50ポンド前後のクラスまで使用できるものとそれ以上のものとでサイズを分けているようです。

またロッドホルダーの取り付け場所は船の構造や使い勝手によって異なるため、様々なタイプが用意されています。最もポピュラーな埋め込み式、そして壁面式のほかに、トップマウント式、パイプクランプ式等がありますが、近年クランプオン・ロッドホルダーの出現により直接

ストライクが取れる位置でのロッドラックとしての利用もできるようになっています。

以上の事柄を整理すると、ロッドホルダーには様々な材料と強度、サイズがありますが、基本的には使用するタックル(ロッドリール)のクラスで選ぶのがよいと思います。次の基準として取り付け場所を決定することでその場所にあったタイプを選ぶことが重要になります。カタログ内の解説に「ロッドホルダーのベーシックなポジション」についてのコーナーがありますので参考にしてください。

最もポピュラー ライト・ミディアムクラスのロッドホルダー

PERKO 埋め込み式 (アングル型)



●Fig.1205

フランジ部真鍮製でパイプ部がアルミ製なので、ライト級のロッドホルダーとして使用してください。



●Fig.448-1

フランジ部がブロンズ製で耐久性に優れています。ライト&ミディアム級のロッドホルダーとして使用してください。



●Fig.448-D1

左ホルダーと同じですが、内舷が内張りされているボート用として、水の侵入を対策することができるタイプです。



●Fig.447

内部ライナーがプラスチック製なので、ライト級のロッドホルダーまた、ロッドスタンドとしてご使用ください。



●Fig.447-D1

左ホルダーと同じですが、内舷が内張りされているボート用として、水の侵入を対策することができるタイプです。

PERKO 壁面式



●Fig.404-1

耐久性に優れたライト&ミディアム級のロッドホルダー。幅106×長さ228mm



●Fig.1215

ライト級のロッドホルダーに適しています。また、ロッドスタンドとしてもご利用ください。パイプクランプ径φ19~26mm



●BlackTip 15°

フランジ径：幅86mm縦108mm鏡面研磨されたライト級のステンレスロッドホルダーです。紫外線耐性のある黒のPVCキャップとインナーチューブが付いており、日光による損傷から守ります。内径43mm(インナーチューブ使用時)



●BlackTip 30°



●BlackTip 0°

PERKO社及びBLACKTIP社製ロッドホルダーは、ロッドエンドを受ける部分を含めて内部ライナーがすべてプラスチック製のため、50ポンド以上のタックルに使用することができません。ライト・ミディアムクラスのタックル用としてご利用ください。



REGAR ◀自在式 ロッドホルダー

ベースサイズ
幅70×長さ120mm

自在式 ▶
ワンタッチ
レバーホルダー
クランプ径
φ19~32mm



PERKO ホルダーキャップ

●Fig.480
¥4,290
適用ホルダー
Fig.1205
Fig.448-1
●Fig.484
¥4,730
適用ホルダー
Fig.447



FMS ●ロッドセーフ ティ・ライン

ロープ径 / 6mm
ロープ長 /
1.5m
¥2,860
2.0m
¥3,080
3.0m
¥3,520

※サイズにより注文製作承ります。